



黒塚の里山ニュース

令和4年11月24日

VOL. 5

■NPO法人主体の公開業務始動

令和4年度に入り当NPO法人はこれまで受託した業務（施設と庭園の管理及び紅花栽培業務）の他、新に旧柏倉家住宅の公開業務も受託した。これに伴い年度初めの4月2日に旧柏倉家住宅の長屋門前において、関係者の皆様のご列席のもとにオープニングセレモニーを開催した。当NPO法人の佐東貞美理事長のご挨拶に始まり、各業務の責任者の紹介等を行った。

当日は声楽家の土田拓志さんの県民歌独唱等も行われ、オープンの雰囲気盛り上げていた。



■紅花まつりに

『ものづくりワークショップ』開催

7月9日、10日の2日間、旧柏倉家住宅を中心とした恒例の紅花まつり開催に合わせ、当NPO法人の事務所がある柏倉清右衛門家において、オリジナルな竹トンボ作りや紅花をモチーフにしたブローチ作り、更に紅花染めのワークショップを開催した。初めての試みであったが、親子連れの方など多くの参加者を迎え、事前の準備に掛けた努力が報われた思いであった。

■旧柏倉家住宅の新しいパンフレット誕

旧柏倉家住宅の新しいパンフレットが刷り上がった。このパンフレットは名古屋工業大学名誉教授の麓和善氏が文章と写真を制作、当NPO法人が編集し、中山町教育委員会が印刷発行を担当した。内容は重要文化財『旧柏倉家住宅』の見どころを余すところなく紹介した建築中心のパンフレットで、豊富なカラー写真と専門用語での解説により内容が充実し、格調の高さが感じられる。

このパンフレットの制作や編集に当NPO法人が関わることが出来たことは画期的なことである。なお、7月21日に町教育委員会と当NPO法人の関係者が出席し、建築パンフレット完成報告会が行われた。



■柏倉九左衛門家に伝わる衣食住のゆかりの品の展示『一畳雅廊』開設

本年4月から旧柏倉家住宅の仏蔵において『一畳雅廊』と称し、柏倉九左衛門家に伝わる衣食住ゆかりの品を展示している。この展示は当NPO法人のアドバイザーである青木邦明氏が中山町教育委員会に提案したもので、展示品は同家16代当主の柏倉桂子さんから借用し、キャプションの作成を当NPO法人が手がけている。

これまで4月は女性の髪飾り（かんざし、くし）、初夏は男性の小道具（煙管、状箱）、7月の紅花まつりでは紅花衣装、夏は女性の装い（半襟、小町紅）、秋は漆器と香道具などを展示した。何れも

貴重な逸品が来館者を魅了している。

仏蔵のほか主屋のカミザシキの床の間に『川端玉章』の掛け軸も展示している。これも当NPO法人の企画によるもので、掛け軸は1月から12月まで十二幅あり、開館期間は毎月替え、それぞれの季節に相応しい掛け軸を展示公開している。



■「旧柏倉九左衛門家 特別講演会 遺された文化を追うII」開催

10月22日、中山町中央公民館大ホールにおいて「旧柏倉九左衛門家 特別講演会 遺された文化を追うII」を開催した。講師は同家にゆかりのある4名の専門家の先生で、経年劣化した建築の修繕や漆塗り建築の取扱い方などを中心とした講演内容であり大変有意義であった。

講演会開催にあたり多くの企業団体や個人様から広告協賛を賜り深く感謝申し上げます。



■2023年の干支(卯)完成

日展会友の青木邦明氏制作によるアルミ彫鍛の干支が出来上がった。黄色を下地にして干支の「うさぎ」が静かに臥し、巡りくる新しき歳への飛躍を想起させます。青木さんは今年の日展公募において25回目の入選を果されました。茲に衷心よりお祝い申し上げます。

なお、ご用命は青木さんへお問い合わせ下さい。
連絡先：080-5748-3001



NPO会員募集中

当NPO法人の活動に賛同し、ご協力を頂ける会員を常時募集しています。現在、会員が自ら参加できる活動として、旧柏倉家住宅の施設管理や庭園の維持管理や紅花栽培業務等があるほか、旧柏倉家住宅の開館日の受付や監視・巡回等の公開業務もあります。

なお、各業務への参加を目的とせずNPOの活動を応援して頂ける方も歓迎します。ご興味のある方、又、不明な点はお気軽に下記電話番号までお問い合わせ下さい。

○正会員

入会金 5,000円、年会費 3,000円

○賛助会員

年会費 1口 10,000円 (何口でも可)

NPO法人黒堀の里山保存会 事務所

〒990-0408

山形県東村山郡中山町大字岡 113 番地

TEL 023-663-2722

FAX 023-663-2723

ホームページ：<https://kurobei-satoyama.main.jp>